

2024 年 1 月 16 日

2023 年度聖路加国際大学大学院
看護学研究科課題研究

都市部の自主防災組織における活動と
運営・維持に関する課題

Qualitative Study on Challenges Related to the Operation and
Maintenance of Voluntary Disaster Prevention Organizations in
Urban Areas

22-MN-002

飯田 亜美

要旨

【目的】本研究は、将来起こり得る大規模自然災害に向けて、自主防災組織の理解の一助となり、公衆衛生看護活動の実践への示唆を得るために、都市部の地域防災における自主防災組織の活動と運営・維持に関する課題を明らかにすることを目的とした。

【方法】半構成的面接法を用いた質的記述的研究を行った。研究対象者は、都市部で活動する自主防災組織に所属し、組織において代表又は役員を経験したことがある自主防災組織のメンバーとした。インタビューの録音データから逐語録を作成し、自主防災組織の活動と運営・維持に関する課題に関連する言葉や文節を抽出し、意味内容の共通性や関連性に着目し、カテゴリを生成した。

【結果】活動の状況としては、【組織運営のための活動】、【防災訓練】、【備蓄・設備の備え】、【災害時の活動】、【地域との関わり】、【地域における普及・啓発】などの 11 の区分が抽出された。課題の状況としては、【組織を維持するための人手の確保に困難がある】、【公助への期待の薄さや現行体制への危機感がある】、【行政による継続的なサポートの必要がある】などの 18 のカテゴリが抽出された。

【結論】都市部の自主防災組織は、防災訓練などの多くの組織に共通する活動のほか、組織の維持のために必要な「予算に関する活動」、「人手確保に関する活動」を行っていることが分かった。組織の課題には、「住民の理解の不足と人手確保の困難さ」、「災害時活動の経験の不足と更なる備えの必要性」、「社会の変化への対応」、「地域の多様な組織との連携の不足」、「ボランティアとしての負担の大きさ」があった。自治体は、住民への普及・啓発や町会未加入者への対応の検討、避難行動要支援者に関する支援、資機材の援助の拡充などを行うこと、保健師は、住民が組織に繋がるきっかけづくり、日頃の活動を通じた組織との顔の見える関係の構築、関係機関・職種との連携の促進、要配慮者や避難所運営等に関する助言・指導を行うことにより、組織の支援と活動の充実を図ることができる可能性が示唆された。